

広州倉敷化工製品
有限公司
が紹介します！

面白がりクラブウ人

「仕事を面白がる」とは「既存の枠を壊して新しいことに挑戦し、自ら何かを変えていくこと」。この企画では「この人こそ面白がって仕事をしてる!」と思う人を紹介してもらいます。

関係会社編



リン ファハイ
林 華海さん

広州倉敷化工製品有限公司
技術部技術課
(2006年入社)

面白がり
クラブウ人

「面白がり」6項目

- ① 既存の枠にとらわれず、いつも新しいアイデアを追求しよう。
- ② 広く好奇心を持ち、いろんなことに飛び込んで行こう。
- ③ 互いの個性を受け入れ、どんな意見もぶつけ合おう。
- ④ 一度やると決めたことは、情熱を持ってやり遂げよう。
- ⑤ だれかを驚かせ、喜ばせ、ワクワクさせよう。
- ⑥ 未来の社会に役立つものを生み出していこう。



紹介者
うめの ふとし
梅野 太志さん

広州倉敷化工製品有限公司
製造部・技術部・品質保証部
(2007年クラブウ入社、2020年より現職)

率先して仕事に取り組む改善のプロ

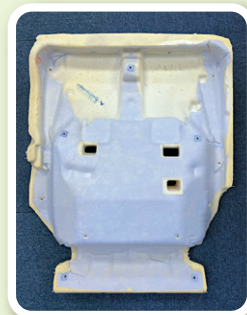
中国でも食都として有名な広州にある当社。私はここに2年前に赴任しました。当社は自動車用シートの成形・加工を行う180人ほどの会社で、シートの形になった金型にウレタンを注入し発泡・成型を行うウレタンモールド加工をメインに行っています。生産に関わるさまざまな改善を日々行っていますが、その中で、誰よりも率先して製品の品質向上に向けた改善に取り組んでいるのが技術部の林さんです。

彼は主に自動車用シートに使われるウレタン素材などの新素材開発・加工を担当しており、新しい形状のシート開発に日々取り組んでいます。また、問題の原因に気づくスピードも早く、改善案をすぐに実践に移していきます。

例えば、自動車用シートを生産する際、シートの背面にあたる部分に布地を貼ります。これは中身のウレタンが金属フレームとの擦れにより破損しない等のた

めですが、シートの形状によっては布地がズレしてしまうなど、いくつかの課題がありました。そこで林さんの出番。原因にいち早く気づき、布地の縫製方法や切り込みなどを工夫し、シートの形状にピッタリと合う布地を開発しました。それだけでなく、取り付け時間が速くなり、後工程での調整が少なくなったことで生産性も向上できました。

林さんの第一印象は「おとなしい人だなあ」というものでしたが、率先して問題解決に挑み、全力で改善に向けて取り組みます。林さんの決して諦めないその姿勢を、後輩など若い世代にも指導を通じてしっかり伝えてくれています。



林さんが改善を行った自動車用シートのウレタン保護用の布地

面白がりポイント

お客さまのニーズに合わせた商品に仕上げるために、自ら率先して改善に取り組む

広州倉敷化工製品有限公司はこんな会社です！



当社は自動車シート用のウレタンの発泡成型を手掛けているメーカーです。成型した軟質ウレタンフォームは、主に中国に進出している大手日系メーカーなどで自動車用シート等の内装材として採用いただいております。クラブウと連携しながら技術開発を進め、お客さまからのさまざまな要望に対応しています。